

# 同じ過ちを繰り返さない

## ハンセン病の歴史から人権侵害を考える

図人権啓発・男女共同参画室 ☎20・7605 FAX22・5904

新型コロナウイルス感染症が流行拡大したことで、感染者やそのご家族だけでなく、医療・福祉機関、地域、学校、職場など感染症への治療や対策に携わる関係者やそのご家族への誹謗中傷・差別などの人権侵害が発生しています。しかし、こうした感染症による人権侵害は、今回初めて起こったものではないことをご存知ですか？

新たな感染症が発生している今こそ、一人一人の人権を尊重してより良い市民社会を築きあげていくことが大切です。過去の歴史も踏まえて、考えてみましょう。

### 感染症とともに繰り返されてきた人権侵害 - ハンセン病

#### 平成8(1996)年まで続いた 隔離政策

日本には、過去にハンセン病患者が強制的に隔離され、患者本人やそのご家族に対するさまざまな差別が行われたという事実があります。ハンセン病は、後遺症もなく治癒することが分かった後も、隔離政策を改めなかったことが、偏見を助長し、差別を拡大させました。

他にも、エイズ患者・HIV感染者、肝炎患者などに対して、不確かな知識や誤解による差別や偏見が今なお存在します。

#### 強いられた堕胎、 奪われた子どもの命

らい予防法及び優生保護法の施行下で、妊娠した女性患者に対する強制堕胎政策が行われ、多くの小さな命が奪われました。感染症によって、人権を侵害されてきた患者の皆さんの悔しさや怒りが伝わってきます。



▲群馬県草津町の国立ハンセン病患者療養施設「国立療養所栗生楽園」内に建立された胎児慰霊碑「命カニシテ」

### 今、私たちにできること

差別や偏見は、ウイルス同様に人から人に伝染し、あっという間に広まります。私たちが本当に恐れるべきは「ウイルス」であり、感染者などの特定の「誰か」ではありません。

不確かな情報に惑わされることなく、相手への思いやりと敬意をもった行動をしましょう。

### 人権侵害でお困りの際は相談窓口へ

新潟地方法務局 みんなの人権 110 番 (全国共通人権相談ダイヤル)

☎0570・003・110 受付時間：月～金曜（祝日を除く）の8:30～17:15

# 虐待のない子育てのために

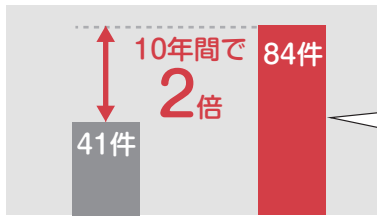
— やめよう たたく！ やめよう 怒鳴る！

子育て支援課

☎47・7786 FAX20・4201

## 相談件数が増えています

市の児童虐待相談対応件数



10年間で  
2倍  
半数が心理的虐待（言葉による脅し、無視、兄弟間での差別的扱い）によるもの

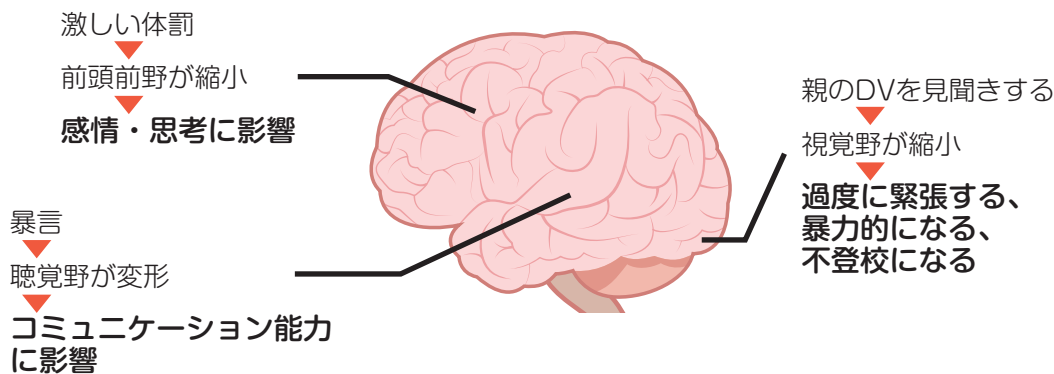
平成22(2010)年度 令和2(2020)年度

### 件数が増えた要因

- 家庭環境や経済問題
- 育児への不安や養育者のストレス
- 虐待に対する市民の皆さんの意識の高まり

## 体罰や暴言は子どもの脳を傷つけます

参考:虐待が子どもの脳に及ぼす影響（福井大学・友田教授）



夫婦げんかを見せることも虐待です



### これらは全て体罰です



- 口で3回注意したけど言うことを聞かないので、頬を叩いた
- 大切なものにいたずらをしたので、長時間正座をさせた
- 友達を殴ってけがをさせたので、同じように子どもを殴った

### しつけと体罰の違いとは？

しつけ⇒子ども自身を伸ばし自律できるようにサポートする

体罰⇒苦痛や意図的な不快感をもたらす行為

## 子育ての工夫のポイント(例)

良いこと、できていることを具体的に褒めてあげましょう。

- 良い態度や行動を褒めることは、自己肯定感を育みます
- 結果だけではなく、頑張りを認めることや、今できていることに注目して褒めることも大切です

苦痛で従ったことは身につきません。

どうすればよいのかを言葉や見本を示すなど、子どもが理解できる方法で伝えましょう！



## ひとりで悩まず相談を

児童虐待・子育ての悩みなど

- 生命の危険、緊急性が高い

☎110 または ☎21・0110（柏崎警察署）

- 子育てや児童虐待に関する相談

いちはやく ☎189 または ☎0258・35・8500（長岡児童相談所）

- 児童虐待に関する相談、子どもの発達や生活に関する心配など

☎47・7786（子育て支援課（元気館内））

DVなど

- DVや家庭、人間関係の相談

☎47・7190（女性相談（元気館内））

# 地域にソトモノの力を

人口減少・少子高齢化により、地域活動の担い手確保が難しくなっています。  
そんな中、ソトモノを受け入れ、一緒に活動している地域があります。

## 受け入れ地域と支援者の声

2人の地域おこし協力隊（※1）を受け入れている矢田地域と、隊員のサポートを行うまちづくりコーディネーターにお話を伺いました。

（※1）地域おこし協力隊

都市部などから移住し、地域住民と一緒に地域を元気にする活動を行う人材。

## インタビュー詳細は市 HP で

隊員が地域に入るまでの地域の歩みや、ソトモノと取り組むポイントの話も！



隊員が入り、地域にどんな変化がありましたか？

隊員の特技を生かした取り組みやイベントなどで、住民同士の交流が増えました。



石黒 芳和さん  
(矢田営農組合代表)

どのようなサポートをしていますか？

活動に関する助言・相談対応を行います。地域、隊員、行政の間に入り、調整役をしています。



辻本 早紀さん  
(NPO 法人 aisa コーディネーター)

## 隊員の活動事例

「地域行事の再興と継承」のシンボルとなる祭り衣装の制作



スマホ・パソコン教室



## こんな時は気軽に相談を

地域おこし協力隊など、ソトモノと関わる地域づくりに興味がある

☎市民活動支援課 ☎43・9127 FAX22・5904

地域を良くするために、何かやってみたい。同じ思いを持つ仲間とつながりたい

☎かしわざき市民活動センターまちから (NPO 法人 aisa) ☎22・2003 FAX22・2007

# 市長への手紙

市民の皆さまには、日ごろから市政運営にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

柏崎市は“市民の皆さまの声が活かされる市政”を進めています。安心・元気・希望に満ちた柏崎市にするため、市政に対するご提案・ご意見をお寄せください。

皆さまの声を市政に生かし、市民との協働のまちづくりを進めてまいります。

柏崎市長

お寄せいただいたご提案・ご意見には、責任を持って回答いたしますので、必ず住所・氏名・電話番号をお書きください。

また、頂いたお手紙・お答えした内容は、個人情報を除いて広報かしわざき・市ホームページなどで公表する場合があります。

▶ 問い合わせ

総務課

☎ 21・2333 FAX 24・7714

✉ somu@city.kashiwazaki.lg.jp



柏崎

9 4 5 - 8 7 9 0

日石町2番1号

柏崎市長  
ゆき



料金受取人私郵便



差出有効期間  
2023年3月31  
日まで有効

(切手を貼らずに  
お出しください)



(やまおり)

# 市政に対する皆さまのご提案・ご意見をお寄せください。

線に沿って切り取り、のり付けしてから投函してください。  
ファクスをお持ちの方は、この面だけ送信していただいても構いません。

市長への手紙

年 月 日

住 所 〒 \_\_\_\_\_

柏崎市

氏 名 \_\_\_\_\_ 性 別 男  女

年 齢 \_\_\_\_\_ 代 \_\_\_\_\_ 電話番号 \_\_\_\_\_

※市長の署名付き回答希望  担当課の回答希望  回答はிரない

いずれかの  に必ず  (チェック) をつけてください。 (チェック) のない手紙には  
回答いたしませんので、ご了承ください。

タイトル:

(のりしろ)

(のりしろ)

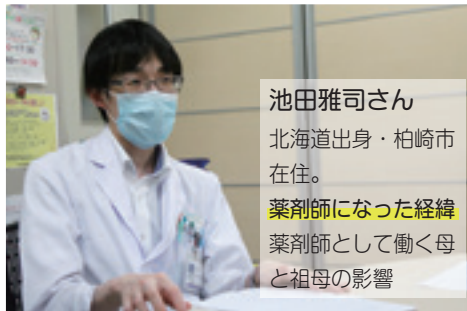
(のりしろ)

医療従事者にエールを

# 薬剤師って どんなお仕事？

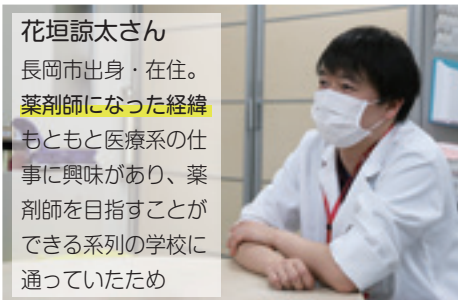
File\_05

独立行政法人国立病院機構 新潟病院で働く薬剤師の池田雅司さん、花垣諒太さんに病院で働く薬剤師の仕事内容、特徴などをインタビューしました。



**池田雅司さん**  
北海道出身・柏崎市在住。  
**薬剤師になった経緯**  
薬剤師として働く母と祖母の影響

▶インタビュー詳細  
「KASHIWAZAKI LIFE BLOG」JHP



**花垣諒太さん**  
長岡市出身・在住。  
**薬剤師になった経緯**  
もともと医療系の仕事に興味があり、薬剤師を目指すことができる系列の学校に通っていたため

## Q 薬剤師ってどんな仕事？

**池田**：医師の処方をもとに薬剤や注射の準備をしたり、抗がん剤の調製を行ったりします。

**花垣**：抗がん剤など医師と相談して決めたり、患者さんの負担をなるべく減らそうと副作用の早期発見に努めたりしています。

## Q 病院で働く薬剤師の特徴は？

**池田**：医師や看護師など他の医療関係者と共に、チーム医療の一員として活躍できます。

**花垣**：医師、看護師と直接話ができ、患者さんの容態を確認し合えます。さまざまな疾患に携わることで医療の勉強もできます。



## Q 必要とされる能力は？

**池田**：コミュニケーション能力です。患者さんの困り事や悩み事を聞き出すことを大切にしているからです。

**花垣**：几帳面さです。注射の調製などミリ単位で合わせる業務があります。



〒国保医療課 ☎43・9141 FAX24・7714

## お得な「にいがたぐるっとミュージアム！」パスポート販売中

- ▶内容…パスポートの提示で県内の美術館・博物館など54施設が無料または割引
- ▶販売価格…大人 1,000 円、子ども（中学生以下）500 円
- ▶有効期間…初回利用日から2カ月間（最終有効期限 2/28 月）
- ▶販売場所…NIC 新潟日報販売店、通販サイト「ガタ市」（<https://gataichi.com/>）など

※パスポートの購入方法・利用方法など、詳細は「にいがたぐるっとミュージアム！」特設サイトをご覧ください。

### POINT 01

市内の施設は、

**コレクションビレッジ3館とドナルド・キーン・センター柏崎が無料**

4施設の合計入館料（通常）は大人 1,800 円のため、このパスポートを利用すると非常にお得。

**注意** 冬季休館がありますので、休館前にご利用ください。詳細は19ページをご覧ください。

パスポート  
利用で

### POINT 02

**抽選でプレゼントが当たるスタンプラリーも同時開催中**

県内の美術館・博物館など89施設のうち、5施設以上のスタンプをもらってプレゼントに応募できます。



にいがたぐるっとミュージアム！事務局 ☎025・385・7474

CASE  
No.25

企業がつくったものづくり大学  
新潟工科大学

## お米のタンパク質を健康へと生かす、未来へのチャレンジ

新潟工科大学・食品機能解析学研究室の久保田真敏准教授は主に、日本人の主食であるお米に含まれる「タンパク質」関連の研究を進めています。

きっかけは「人体の不思議」。一途な想いが「今」の研究に：

米タンパク質には、摂取することで糖尿病やその合併症の進行を遅らせたり、血中のコレステロール濃度を下げるなどの研究成果が出ています。

最近「高タンパク質」ブームが起きつつあり、世間の興味が自身の研究テーマに近づいてきていることを、久保田准教授は密かに喜んでいるそうです。

食品関連の研究分野に進んだきっかけについてたずねると、「昔から勉強が嫌いでしたが、子どもの頃から『人体の不思議』には興味がありました。そしてそれは人の体に欠かせない『食品の不思議』へと進化して、気づいたらこの研究に関わっていた。そんな気がしますね(笑)」。研究への一途な想いを冗談交じりに教えてくれました。

地元企業と連携をして

新しい健康食品を開発したい

過去には県内の大手米菓会社や、米ぬかを取り扱う食品会社

などと協力を進めて研究を進めたこともあり、地元柏崎の企業からもいくつか相談を受けたことがあります。

新潟工科大学に赴任してまだ

2年の久保田准教授は、「柏崎の企業と協力し合う関係を、今後築いていきたいですね」と、地元企業との連携に期待を寄せています。

「現在は

子どもから

お年寄りまで、お米を食べて健康的に暮らそうという風潮になってきています。私たちの研究が健康食品などに活用され、皆さんの生活にも生かされたい、とてもうれしいですね。一般の方に『使ってもらおう』ために、これからも研究を進めていきたいと思えます」と、さらなる意欲を語ってくれました。

お米から得られる健康へのメリット、そして魅力を最大限に引き出すことを目指している久保田准教授の研究は、「米どころ新潟」の未来につながる大きな可能性を持っています。



学生に実験のノウハウと知識を指導



専門機器で慎重に数値を測定します



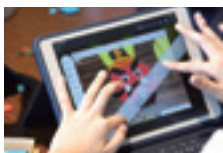
### Key Person

新潟工科大学 食品機能解析学研究室

准教授 久保田 真敏さん

#### 市民の皆さんにひとこと

大学の使命は「教育」「研究」「地域貢献」だと考えています。市民の方の悩みに寄り添える「知識」が工科大にはたくさんあるので、小さなことでも相談してください!



今回は、学生1人、児童9人ずつの4グループに分かれ、事前にそれぞれが作成したクッキー型粘土を持ち寄り、類似のデザインを集め、クッキーアソートのテーマを検討しました。その後、タブレット端末で撮影、編集した画像を使って成果を発表しました。学生にとっては、普段の授業にはない環境で新たな視点を得る良い機会となりました。柏崎を代表するお菓子の完成を目指して、今後もプロジェクトを進めてまいります。

新潟工科大学から  
お知らせ



小学生とワークショップを行いました

有限会社綾子舞本舗タカハシと大光銀行柏崎支店との産学金連携で、新しいお菓子の開発を目指す「アヤコラボ」プロジェクトが進行中です。取組みの一環として、学生4人が新潟小学校4年生36人とワークショップを9月29日にハコニワ(横山)にて行いました。

本学水球部は、インカレ29年連続出場を果たしており、目標である優勝に向かって日々厳しい練習を行っています。今後のさらなる活躍にご期待ください。



新潟産業大学から  
お知らせ



水球部男子の「インカレ祝勝会」を開催しました

柏崎市アクアパークで開催された「第97回日本学生選手権水泳競技会水球競技」において、本学の水球部男子が第3位入賞を果たしました。この結果を受けて、学生・教職員で祝おうと、10月13日(水)の昼休みに学内にて祝勝会を開催しました。水球部主将より、応援に対するお礼と日本選手権最終予選に向けた力強い決意表明がありました。